

話題 街に ひろう



長田さん「家族の力がすごく大きい」



鷺野さん「家族が孤立化して、誰かが積極的に入り込むことが必要な場合もある」



安部さん「働くことは生活すること。生きることは自分も周囲の縁を耕すこと」



高橋さん「夫婦のあり方が問われていくのではないかな」



講演する
池田香代子さん



←コーディネーターの長谷川幸介先生

うしく男・ウラフォーラム2011

2月19日、牛久運動公園体
育館で「うしく男・ウラフォー
ラム2011」が開催され、
多くの人が訪れました。

この催しは、人が輝きなが
ら生きるために市民と行政、
企業が連携し、世代を超え、
仕事と生活の調和、そして明
目を拓く意識が高まることを
目的としています。

当日は、牛久市民吹奏楽
団による華やかな演奏を皮
切りに、開会。市民によるパ
ネルディスカッションでは、
「生きていく智恵と力を伝え
よう！〜自立と共生を求め
て〜」と題して、長谷川幸介
先生（茨城大学准教授）をコー
ディネーターに迎え、長田佳
世さん（つくばセントラル病

院産婦人科医師）、鷺野薫さ
ん（茨城農芸学院院長）、安部
亜紀さん（農業）、高橋茂樹さ
ん（元朝日新聞記者）の4人の
パネリストが、活発な意見交
換を行いました。

長谷川先生は「人は縁の中
で生きていて、独りでは生き
ていけません。無縁社会に立
ち向かっていくためにも、家
族・地域・職場などで男性と
女性がどういっしょに生きて
つか。いま、挑戦を迫られて
います」と締めくくりました。

「世界がもし100人の村
だったら」と題した池田香
代子さん（ドイツ文学翻訳家・
口承文芸研究家）の講演会
は、貧しい生活を送る海外の
子どもたちを取り上げ、WFP
P（国連世界食糧計画）の給食
支援で、労働から解放され、
学校に行けるようになった子
どもたちなどの話をしまし
た。また、会場では牛久市男
女共同参画ネットワークの活
動を紹介するパネルも展示さ
れ、参加者は男女共同参画に
ついての理解を深めました。

景観まちづくりフォーラム

2月26日、エスカード生涯学習センター多目的ホールで、牛久市景観まちづくりネットワークとの共催のもと、「牛久市景観まちづくりフォーラム」が開催されました。

フォーラムでは、景観まちづくりについての各種活動の取り組みや、牛久小学校6年生代表による景観まちづくり学習について発表がありました。「みんなでやっぺ。うしくまちづくり」をテーマにしたパネルディスカッションでは、これから市民の皆さんとどんなことができるのかを議論し、盛んな意見交換が行われました。また、会場内に展示されたさまざまな作品に、参加者は熱心に見入っていました。



活動について発表の様子

家庭教育学級 合同閉級式・記念講演会

2月21日、牛久市家庭教育学級で合同閉級式ならびに記念講演会が行われました。1年間のまとめとして、各学級の学習活動報告を幼稚園(第一幼稚園)、小学校(牛久小学校)、中学校(牛久第一中学校)の代表者がそれぞれ報告。また、学級生を代表して、牛久文化幼稚園の山根委員長が「家庭教育は、親から子どもへ信頼ある見守りの中で育まれることを研修を通して学んだ」と謝辞を述べました。

記念講演会では、ひたちなか市の「のびる学園」の園長・渋谷照夫先生が「子育ては楽しいですか」をテーマに講演。参加者たちは子どもへの接し方を学びました。また、池辺市長のあいさつの中で「大人が変わらなければ、子どもは変わらない。親自身も自立心を持って生き、子育てに関わって欲しい」と話しました。

謝辞を述べる学級生代表(写真右)



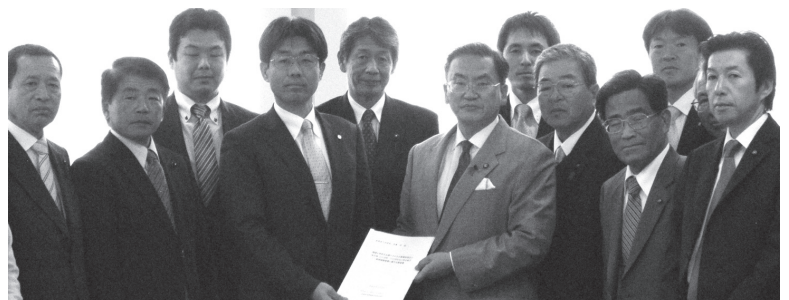
講演する渋谷先生



国道6号バイパスの事業促進 などについて要望

2月9日、池辺勝幸市長をはじめとする、牛久市・つくば市・つくばみらい市による協議会の代表団が、茨城県土木部に対して、国道6号バイパスの整備促進と牛久市、つくばみらい市間の新規道路2路線について要望をしました。

池辺市長は、国道6号バイパスの整備促進を訴えるとともに、牛久市・つくば市・つくばみらい市の3市を結ぶ新規道路が県の計画構想に盛り込まれるよう要望。茶谷巖市議会議長、柳井哲也市議会議員、小松崎伸市議会議員のほか、山岡恒夫県議会議員、つくば市、つくばみらい市の議員、同市選出の県議会議員も同行し、地元地域全体が要望内容について強く望んでいることを訴えました。



↑茨城県土木部都市局長(写真左から4人目)に要望書を手渡す池辺市長



牛久市商工会女性部が寄付

3月2日、牛久市商工会女性部が「うしくWa iワイまつり」や「うしくシティマラソン」で行ったバザーの売り上げの一部3万円を牛久市社会福祉協議会へ寄付しました。同部は、市内の福祉施設に花を寄付するなどの活動を行っていて、今回の寄付金は、地域福祉向上のために使われる予定です。



平成22年度県民健康づくり表彰式

2月23日、県庁で「平成22年度県民健康づくり表彰式」が行われ、ボランティアグループ「福寿草」の皆さん(右写真)が健康づくり推進事業功労者として知事から感謝状を贈られました(下写真)。



同グループは20年以上にわたり、ハンセン病療養所である「国立療養所多摩全生園」への慰問活動を実施し、県出身の入所の方がふるさととのつながりを深めていただくため、手打ちそばを持参し、入所者の方の潤いある暮らしを実現することに大きな役割を果たしています。

また、この日は、同グループの他にヘルスロードを1,000km以上歩いた市民の方と長年にわたり献血事業に貢献している(100回以上)市民の方が表彰されました。



夢を追う

子どもたちにエール

2月27日、牛久運動公園で「鹿島アントラーズとサッカーから学ぶ夢教室」が(社)牛久青年会議所主催で開催されました。この催しは、同会議所が「夢をつかむために今できること、すべきこと」を子どもたちに伝えようと企画したものです。

当日は、小中学生58人が参加。教室の冒頭、塚本裕己さん(同会議所理事長)は「子どもたちに夢を持つことの素晴らしさや、その夢をつかむために今すべきこと、できることを感じてもらいたいという強い気持ちからこの教室を開催しました。夢を持つこと、追いかけることにより人は成長し、逆境も乗り越えられると思います」とあいさつ。塚本さんが「将来プロサッカー選手になりたい人は？」と問いかけると、ほとんどの子どもたちが目を輝かせながら手を挙げました。



有意義な一日となりました。

第1部の練習では、元鹿島アントラーズの長谷川祥之さんとジュニアユースコーチが熱血指導。「相手とボールをよく見て」「基本が大事だよ」とアドバイスをしていました。また、相手の名前を呼びながらパスを出す練習もして、お互いのコミュニケーションを図ること、日々の練習からの積み上げが成果につながると熱く指導していました。

第2部の講演会で長谷川さんは、「現役生活は終えましたが、私もサッカーの指導者になる夢を持ち続けています」と語り、子どもたちに「サッカーが好きだから目の前のことを必死にやってきました。好きだという気持ちを大切にして、練習はもちろん、普段の生活にも取り組んでほしい。自ら動く、人の見ていないところでもやる、それが夢の実現につながる」とアドバイス。子どもたちは、夢の実現に「現に一步でも近づけることができ、楽しく有意義な一日となりました。」

ふれあい

もちつき大会

3月5日、つつじが丘区民会館で「第3回つつじが丘ふれあいまちつき大会」が開催されました。この催しは、自治会、子ども会、つつじ会とむつみ会が共催し、一緒にもちつきやレクリエーションを通して、子どもたちと地域の人たちが交流すること、牛久第二小学校を卒業する6年生と4月に入学する新1年生をお祝いすることを目的に開催されたものです。

地域の方が、ふかしたばかりのもち米をうすに移して、子どもたちにバトンタッチ。子どもたちは「イチ、ニ、イチ、ニ」と元気良く声を出しながら、大人たちの手を借りてきねを突きましました。出来上がったおもちは、きな粉もちや磯べもちにして楽しく話をしながら、みんなで食べました。

実行委員長の柴田群治さんは「ふるさとを愛する気持ちを育てたい。ここで育った子どもたちが栄えるよう、みんなが頑張っていきたい」と話していました。



最後はみんなで「ハイチーズ!」→

平成22年度茨城県

下水道促進週間コンクール

9月10日、「下水道の日」および茨城県下水道促進週間にちなんで、県内小・中学生ならびに一般の方を対象に、下水道をテーマとした作品を募集したところ、県全体で47,521点の作品の応募がありました。市からは2人の小学生が入選し、表彰されました。

標語部門 10,414作品中

【知事賞特選】

堀添裕史さん(中根小学校6年)

新聞部門 129作品中

【佳作】

鈴木絵梨奈さん(ひたち野うしく小学校5年)

筑波大学硬式野球部による野球教室

1月23日、市と筑波大学との連携の一環として、筑波大学硬式野球部による野球教室が開催され、牛久リトル、シニアの選手約60人が参加しました(下写真)。

野球教室では、野球の基本技術をはじめ、ゲームやレクリエーションを通じて、野球の楽しさを体験しました。参加した子どもたちは「大学のお兄さんに教わって、楽しかった。また参加したい」と話していました。



このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp



c.1.

南・犬塚さん

皆さんのお便りから

短歌・俳句・川柳コーナー

老木に咲えた桜と青い空

刈谷町 小山さん

それぞれに思い出ありて桜かな

栄町 増田さん

春風に吹かれてみたい病み上がり

女化町 ペンネーム 女化小町さん

吊るしびな風に揺れ舞う窓に見ゆ

田宮 岡村さん

夢背負ってタイガーマスクのランドセル

さくら台 二国さん

朧なる記憶の中に四歳の着物の絵柄に赤い椿が

岡見町 根本良子さん

咲き始めて風にためらう梅花かな

岡見町 匿名希望

定年の淋しさうれしさ複雑で備前の湯呑み微笑んでいる

正直町 唯根さん

本当の美女心美しき女の人

女化町 砂押さん

携帯に命の綱を託すのみ

下根町 藤田さん

世を観て不足徳の無さと我が胸に言い聞かす

南 平さん

春立や川の流れの早きこと

小坂町 飯塚さん

イラスト、俳句、川柳など、毎月たくさんのお便りありがとうございます。紙面の都合上、すべてを掲載できない場合がありますが、今後もたくさんのお便りをお待ちしています。